

PARADIGM SHIFT

今後10年間の環境変化

丸井グループが見据える3つのパラダイムシフト

現世代から将来世代への世代交代

デジタル技術の導入期から展開期への移行

有形資産から無形資産への長期的なシフト

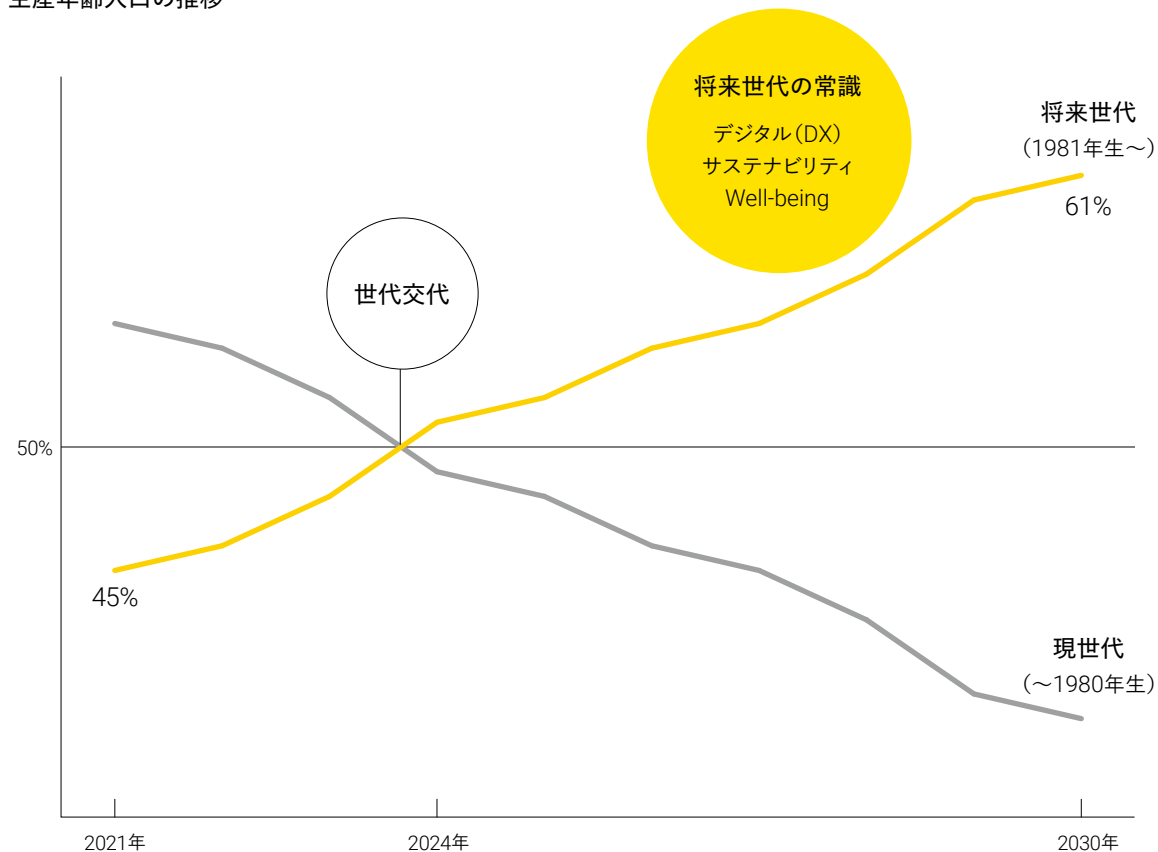
これら3つが今後10年間に起こりうる大きな転換であり、私たちがスピード感を持って対応すべき環境変化であると捉えています。

PARADIGM SHIFT

将来世代が未来を担っていく

2024年に、日本の生産年齢人口に占める将来世代の割合が、現世代の割合を逆転すると予想されています。この世代交代が意味するのは、将来世代の価値観に適応できない企業は支持を失っていくということです。私たちは、デジタル(DX)、サステナビリティ、Well-beingをさらに追求し、社会課題の解決をめざします。そして、将来世代や共感する現世代と共に「しあわせ」と「利益」の両立を実現します。

生産年齢人口の推移



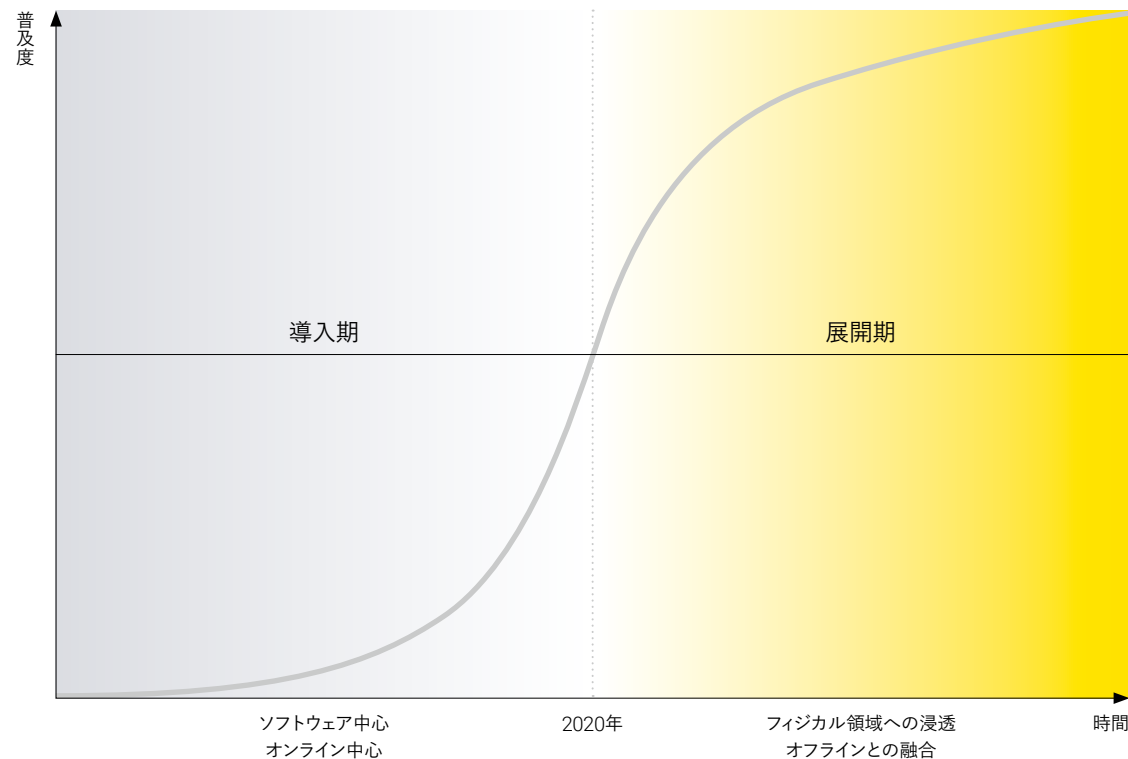
「人口推計」(総務省統計局)をもとに当社作成

PARADIGM SHIFT

デジタル技術は展開期へ突入

デジタル技術は、これまでソフトウェアやオンラインを中心に発展してきました。これからは、さらにデジタルがフィジカル領域に浸透し、オンラインとオフラインの融合が進んでいきます。すなわち、企業には新たなデジタルプラットフォームの構築が求められます。私たちは、オンライン発のスタートアップ企業との共創を活発化し、店舗とフィンテックを通じて「オンラインとオフラインを融合するプラットフォーム」をめざします。

デジタル技術革新のS字カーブ



馬田隆明『未来を実装する』(英治出版、2021)、Carlota Perez, Technological Revolutions and Financial Capital: The Dynamics of Bubbles and Golden Ages (Edward Elgar Publishing, 2002)をもとに当社作成

PARADIGM SHIFT

無形資産への投資が本格化していく

GAFAMの台頭に代表されるように、今や無形資産への投資が「世界経済最大のトレンド」であるとされています。しかし、日本は依然として無形資産の後進国であり、時価総額に見る企業価値の低さにも表れています。今後、有形資産から無形資産への長期的なシフトは、日本においても急速に進展していきます。そこで私たちは人材やソフトウェアに加えて、新規事業や共創投資などの無形資産にも積極的に投資し、有形資産の労働集約型から無形資産の知識創造型企業に転換していきます。

東証一部時価総額

約720兆円
(2,186社)

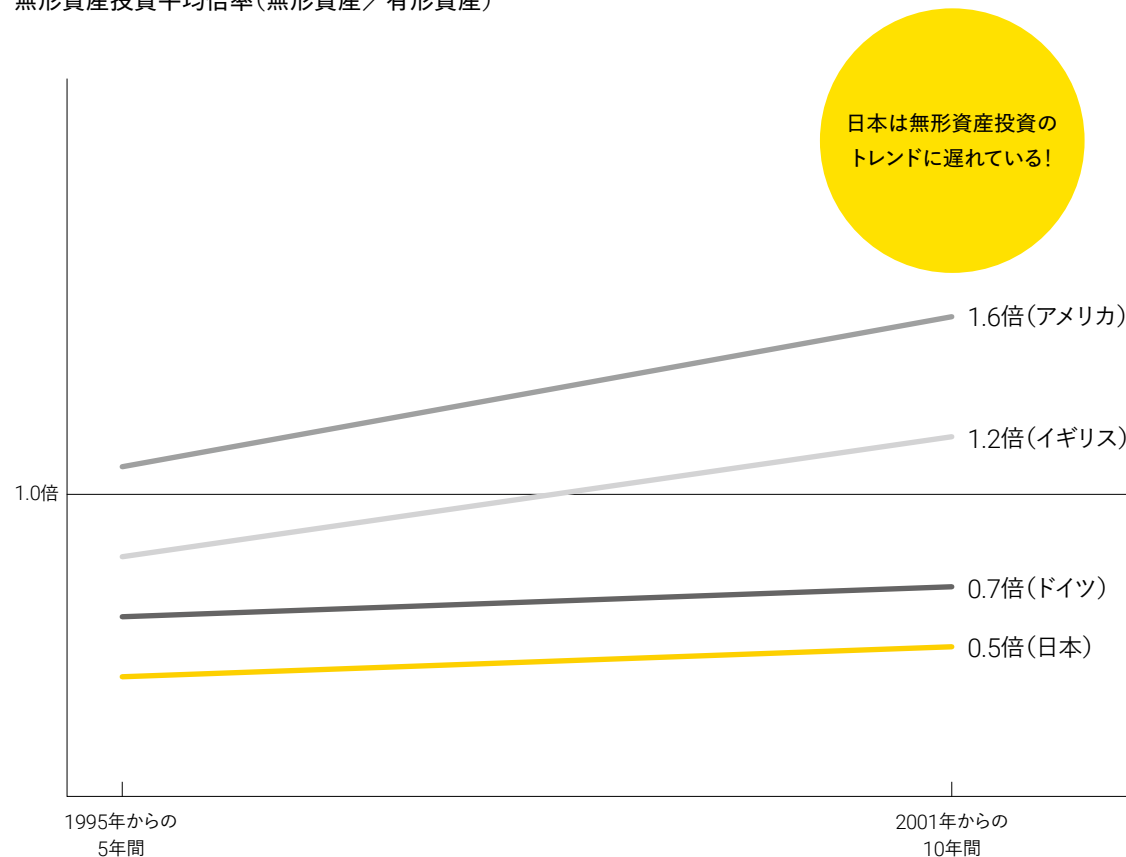


GAFAM時価総額

約850兆円

2021年3月末実績

無形資産投資平均倍率(無形資産/有形資産)



日本は無形資産投資の
トレンドに遅れている!

宮川努ほか「無形資産投資と日本の経済成長」(RIETIポリシー・ディスカッション・ペーパー、2015)をもとに当社作成